



ウィズコロナ時代の Volunteer 災害ボランティア



瞬く間に世界中に流行した新型コロナウイルス感染症は、私たち一人ひとりの健康や社会・経済活動など日常生活に深刻な影響を与え、既存の社会システムを危機的な状況に追いやる世界的規模の「災害」だと言えます。

また、令和2年7月3日から九州各地や長野県、岐阜県はじめ国内各地で記録的な大雨が降り、大規模な河川の氾濫や土砂災害、浸水被害が各所で発生しています。

そういった複合災害の状況下、被災地の災害ボランティアセンターの運営にも大きな影響が及んでいます。

被災して、生活のすべてを失ってしまった方々には、支え合いの力が必要です。これまでの災害では、一日も早い生活再建のため、全国各地から災害ボランティアが集まり、復旧・復興に協力していました。災害ボランティア活動は、個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されている現在の状況の中、災害ボランティア活動を進め

ることで、感染を広げてしまう恐れがあり、今回の被災地域は、人口に占める高齢者の割合も高く、感染の広がりが被災地の住民の命を脅かす事態を生むかもしれません。被災地では、新型コロナウイルス感染拡大リスクを回避するため、被災県内のボランティアグループ・NPO団体等による復旧・復興の支援活動が行われています。

こうした経験から京都市でも、普段から「気づき・つながり・支え合える」住民同士の支え合いの力が必要です。

被災地へ出向かなくても できるボランティア活動

赤い羽根共同募金では、被災者を支援する活動を支える支援金・被災された方々のための義援金など様々な形で災害・被災地支援活動を実施しています。



京都市災害ボランティアセンター TEL:075-354-8728
(運営:京都市、きょうとNPOセンター、京都市社会福祉協議会) FAX:075-354-8727
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノロ上る梅津町83-1 ヒト・まち交流館 京都内 ☒ office@ksvc.jp



社会福祉法人 **京都市社会福祉協議会** 令和2年度版 10月発行

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノロ上る梅津町83-1 ヒト・まち交流館 京都内

TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736

https://www.syakyo-kyoto.net/ E-mail: sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp



社協の活動を映像でご覧いただけます

京都市社協

検索

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。



SYAKYO-KYOTO

令和2年度版

京都市の社会福祉協議会



新しい生活様式で
もっとながめる絆

menu.1

新しい生活様式のもとでの
それぞれの地域活動

menu.2

災害に備えた、地域のつながり



2020年度版

西京区 社協通信

うちはこうしてみました!!

コロナ禍での活動

あらしやまひかし 嵐山東 学区

ソーシャルディスタンスを 保ち筋トレ再開

嵐山東社協では、筋トレ教室(健康すこやか学級)の会場をソーシャルディスタンスが守れる小学校の体育館に移し、ストレッチや筋トレ、整理体操等充実した内容で行っています。
また、扇風機も活用して十分な換気も行っています。



▲ボールを使って人と人との間隔を十分に



参加者の方

コロナへの不安がないことにはないですが、工夫してもらっているので気になりません。

コロナの影響で地域の気になる方への見守りもできていないことから、見守りの機会が必要だと思い、活動を再開しました。
密にならないように換気をしっかりするのと、消毒、マスクの着用を徹底しています。皆さんが安心して参加できるように、やれるだけの対応を行っています。終了後もしっかり消毒しています。



嵐山東社協の役員、ボランティアの皆さん

西京・介護者の会 「虹の会」

集まれなくても オンラインでつながる

西京・介護者の会「虹の会」ではSNS(LINE)を活用したつながりづくりとして新たな取り組みが始まっています。



西京・介護者の会「虹の会」
大八木代表

LINEを使うと会って話すのとはまた違ったつながり、楽しさを感じました。
コロナ禍でもできることをグループLINEで相談して決め、会員の皆さんに電話をして元気を確認しようと決めました。
会員さんの元気を確かめるつもりが、逆に元気をもらったりと、会えなくてもつながることの大事さを感じました。

虹の会役員グループLINE (8)

役員A
会員のCさん(介護者)に電話をしました。ご主人が骨折して入院しているそうで、ご本人も入院したりと留守がちだったそうです。お元気だそうで、久しぶりに30分お話しができてスッキリしたとおっしゃっていました。こういう機会を与えてもらって良かったとおっしゃっていました。

役員B

Aさんお疲れ様です。ニュースに皆さまの声、お宅訪問等載せられたらいいですね。今はコロナで気が滅入ってしまってますから、電話でお話し良いですね。

虹の会役員のグループLINE画面

コロナで気が滅入ってしまっていたので、久しぶりにお声が聞けて嬉しかったです。



参加者の方

かつらぎか 桂坂 学区

熱中症を防ぐために マスクを外せる工夫を

桂坂学区社協では「来られる方に安心して参加してもらえるように」という思いから、入口での検温や手指消毒、マスク着用のお願い、会食も持ち帰り用のお菓子にする等できる範囲での感染症対策を行い、健康すこやか学級を実施しています。また熱中症を防ぐため、屋外で人との距離がとれる場所に「マスクを外して休憩ができる場所」を設ける工夫もしています。



▲お土産のお菓子は個包装に



参加者の方

少しでも体を動かしたいと思い、参加しました。家にいてもすることがなく、参加を楽しみにしていました。



桂坂学区社協
星野会長

広い会場で換気を徹底し、向かい合わせにならないよう、席配置も工夫しました。開始前・終了後は椅子や机、備品の消毒をし、ボランティアもなるべく共有のものは使用を避けるようにしています。

区社協から...

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、工夫すればできることがあるということを知っていただきたいと思い、地域での活動を紹介いたしました。

完璧な対策はないと思いますが、それぞれの地域、場所のできることを考え、工夫して取り組んでいただければと思います。

また、地域包括支援センター、介護予防推進センター、西京区地域福祉推進委員会、地域支え合い活動創出コーディネーターとの協同により、これからの地域活動で気をつけるポイントをまとめた冊子を作成しました。ぜひご利用ください。

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては活動を中止している場合もあります。学区ごとに取組は様々ですので、詳しくは西京区社協までお問い合わせ下さい。

これからの 地域活動 ガイドブック



▲西京区社協HPからダウンロードできます

問合せ

社会福祉法人 京都市西京区社会福祉協議会
〒615-8156 京都市西京区榎原百々池31番地の18 西京ふれあい地域福祉センター内

TEL.(075)394-5711
FAX.(075)394-5712

http://www.kn-coSw.jp

西京区社協についてもっと知りたい方は

西京区社協 検索



※紹介した地域活動は、活動参加前の検温、手指消毒、マスク着用のお願い、ソーシャルディスタンスの確保、会場の換気、参加者の取りまとめを行い実施されています